

一般社団法人 武雄杵島地区医師会

# 理事会会報

令和6年7月19日



越川橋 (川登 SA 上り)

# (一社) 武雄杵島地区医師会

## 理事会 会報

§ 令和 6 年度 第 4 回 理事会 §

- 日 時：令和 6 年 7 月 1 9 日 (金) 午後 7 時 0 0 分～
- 場 所：武雄杵島地区医師会 2 階会議室
- 出席者 (理事総数 1 8 名・出席者 1 5 名、欠席者は—で抹消)  
(定款第 37 条第 5 項により成立することを確認(過半数の出席で成立))  
(代表理事)太田光博  
(副 会 長)大隈良成、沖田光紀  
(理 事)持田和幸、檜崎史彦、松本洋二、森 徹、~~谷口一亮~~、藤瀬剛弘、  
草野謙一郎、~~篠田大介~~、田中雅博、~~武岡陽介~~、溝上健次、森 倫人、  
川添聖治、有島宏明、道塩和久  
(監 事)~~田中裕幸~~、~~嬉野光俊~~  
(顧 問)吉賀義行
- 議 長 太田光博

### I. 会長挨拶

皆さん今晚は、お忙しいところ、理事会へのご出席ありがとうございます。

九州南部は梅雨明けし、九州北部ももうすぐ梅雨明けすると言われております。先週末は激しい雨が降りましたが、会員の皆さまに影響はなかったでしょうか？

まず、6 月 22 日に開催された、日医定例代議員会での役員選挙についてですが、現日本医師会長の松本吉郎先生が再選されました。「地域から中央へ」「更なる信頼を得られる医師会へ」「医師の期待に応えられる医師会へ」「一致団結する強い医師会へ」と言う、4 本の柱を更に強化していきたいと述べられております。

そして、新型コロナウイルス感染症につきましては、全国的に増加傾向にあります。佐賀県では 7 月 8 日から 14 日までの報告数 1,149 名、定点報告 29.46 と 1 カ月前の 4 倍に増加し、休日急患センターの受診者数も 14 日が 70 名、15 日が 80 名を超え、約半数がコロナ陽性者でした。この状況であるため、8 月 12 日までは 2 人体制で対応していく予定です。これから本格的な夏を迎えます。ぜひ、熱中症対策・感染対策に留意して日々の診療をお願いいたします。

### II. 承認事項

#### 1. 会員の異動について

<入会>

・令和 6 年 7 月 1 日付 B 会員 小林 佑佳先生 田中内科医院

★承認された

2. 2024年度杵藤地区「ストップ糖尿病」対策連絡会の出席依頼について  
日 時：令和6年7月22日（月） 19：00～20：30  
会 場：嬉野医療センター 3階 講堂（会議室1）  
委 員：藤瀬剛弘先生、中川内玲子先生  
★承認された
  
3. 令和6年度佐賀県介護老人保健施設大会における後援名義使用許可について  
日 時：令和6年11月21日（木）  
会 場：北方公民館 文化ホール  
参加者等：県内会員施設の介護老人保健施設関係者 300名予定  
★承認された
  
4. 「武雄市の国民健康保険事業の運営に関する協議会」委員の推薦について  
任 期：令和6年7月1日～令和9年6月30日  
推薦する委員：副島義久先生、持田和幸先生  
★承認された
  
5. 「救急の日」及び「救急医療週間」に係る協賛について（武雄消防署および白石消防署より）  
期間：令和6年9月3日（火）～9月9日（月）  
事業：一日救急隊長による広報活動、消防車・救急車の展示など  
協賛金：各2万円（恒例）  
★承認された
  
6. 武雄市健康づくり推進協議会委員の推薦について  
任 期：令和6年4月1日～令和8年3月31日  
推薦する委員：貝原良太先生  
★承認された
  
7. 第69回（令和7年度）九州ブロック学校保健・学校医大会への協力及び第1回実行委員会の開催について  
日 時：令和6年8月1日（木） 18：30～

場 所：オンライン開催 ※佐賀メディカルセンターへの参加も可能

委 員：有島宏明先生

★承認された

8. 国スポエアロビック競技における医師、看護師の派遣について（武雄市より）

日 時：令和 6 年 8 月 24 日（土） 10：00～17：00

令和 6 年 8 月 25 日（日） 10：30～15：30

※スポーツドクターまたは整形外科医の派遣依頼

派遣する医師・看護師：副島整形外科（24 日）、順天堂病院（25 日）

★承認された

### Ⅲ. 協議事項

1. ケーブルテレビへの番組制作の協力について

※武雄杵島地区をサービスエリアとしているケーブルワンが、新たな番組の企画として「健康がいちばん（仮）」の制作を検討されております。

その中で医師による説明やポイントの解説をお願いしたいことから協力の依頼を受けております。

★番組への協力を行い、内容に応じて協力する医師を医師会から紹介していくことになった。

### Ⅳ. 各担当理事報告

1. 全理事会報告（太田 光博会長）

- ・7月12日（金）に開催された九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議についてです。この会議では、2025年からの新地域医療構想について話が行われております。また、離島へき地における医療提供体制について意見交換が行われ、多くの離島を有する長崎、鹿児島、沖縄では、いずれもオンライン診療の活用を紹介されたようです。長崎では、処方薬をドローンで配達する実証実験もされているようでした。
- ・佐賀大学医学部の地域医療実習についてです。佐賀大学医学部では、地域の診療所や病院での臨床実習を拡充するための準備を進められており、県医師会へ協力していただける施設を紹介してほしいという依頼がっております。佐賀大学医学部の学生が佐賀県に留まる為にもぜひ協力していただければと思います。
- ・7月12日（金）に開催された令和6年度第1回性暴力被害者支援事業調整会についてです。平成24年度に「性暴力センター佐賀（さがみらい mirai）」が佐賀県医療セ

ンター好生館内に設置され、女性の性暴力被害者に対する医療支援や心理的支援が行われております。また、平成 30 年度からは、医療支援の対象を 15 歳以下の男児まで拡大し、支援が行われております。そして、ジャニーズ事務所問題以降の令和 6 年度からは、男性にも拡大することの検討が行われているということでした。

- ・肺がん検診精密検査医療機関登録に関わる登録要件の一部変更についてです。現在の登録要件は、「高分解能 CT による画像診断ができること」「気管支鏡による組織・細胞診検査が実施できること」になっていますが、令和 7 年度申請分より、「自院において CT (64 列以上の検出器であること) による画像診断が実施できること」に変更されます。

## 2. HPV ワクチンキャッチアップ接種の期限 (9 月末) が迫っていることについて (大隈 良成副会長)

現在、子宮頸がんなどの HPV 疾患を予防するワクチンについて、積極的な個別勧奨が一時的に差し控えられていた間、定期接種の対象であった方々でワクチンの接種機会を逃した方を対象としたキャッチアップ接種が行われております。このキャッチアップ接種の期限は令和 7 年 3 月末となっておりますが、このワクチンは 3 回の接種が必要であり、期間も 6 ヶ月かかりますので、実質 1 回目を 9 月末までに打たないと間に合わないということになります。何とかこの機会に、多くの方に接種していただきたいと思っていますので先生方からもぜひお声がけをお願いいたします。なお、8 月 25 日 (日) には、佐賀県産婦人科医会が佐賀県医師会等からも後援をいただき、ゆめタウン佐賀において子宮頸がん啓発イベントを開催しますのでご周知についてもお願いいたします。

## 3. 佐賀県内科医会役員会報告 (檜崎 史彦理事)

7 月 3 日 (水) にオンラインで参加した会議について報告します。まず、令和 5 年度の事業報告および令和 6 年度の事業計画が行われました。その他議題となったのが、生活保護の医療要否意見書についてです。この意見書が回ってきた際、返信のための宛名書きや郵送を医療機関が負担していることが問題としてあげられました。現在、各自治体で返信用封筒を同封してもらうよう交渉が行われており、実際に佐賀市では同封してもらえるようになったそうです。この件を受け、各地区医師会から自治体へ同様の交渉を行うべきだという提案がありました。現在、県内では 4 つの市町で返信用封筒が同封されているため、交渉次第では他の自治体でも可能になるとされています。

次に、期限切れの処方箋の取り扱いについてです。ある保険薬局では、期限切れの処方箋について、日付を書き換えるように医療機関に誘導しているところがあるようです。法律上、日付を書き換えることはできず、引き換えで再発行するという決まりになっています。それにも関わらず、書き換えを促す薬剤師がいて、書き換えができないと言われた場合、他の医療機関を紹介するなどの行為も見られます。このよう

な行為は非常に問題であり、医療機関としても日付の書き換えは法律に違反するため、注意が呼びかけられていました。

#### 4. 第 55 回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会報告

(太田 光博会長・持田 和幸理事)

<検査・検診部門：太田光博先生>

本協議会は、7月6日(土)～7日(日)にかけて開催され、私は検査・検診部門に出席してきました。佐賀県健康づくり財団、北九州市小倉医師会、熊本市医師会から行われた発表について報告します。

第1題の佐賀県健康づくり財団は、医師会共同利用施設(臨床検査部門)の利用に関するアンケート調査結果についての発表でした。会員の高齢化が進んでいること、若い会員の回答が少なく無回答は40%もあったそうです。利用しない理由については、料金が安い(CRCが最も安い)、集配の便が悪い、電子カルテとの相関性が悪いなどです。ただし、電子カルテとの相関性はきちんとしているので誤解がないようにということでした。また、新規開業施設へのアプローチですが、電子カルテ導入時に検査機関と契約しているケースが多いので、開業後に財団から話を行っても受け取ってもらえないことが多いので、このタイミングを何とかしたいと言われていました。

第2題の北九州市小倉医師会は、検診結果を当日に報告する当日結果説明業務について報告されました。非常に満足度が高く、要指導者に対しての動機づけになることがメリットです。ただし、当日結果報告・生活指導の説明を行うには、人数が増えると待ち時間も増えるため、マンパワー不足の問題があるとされておりま

す。第3題の熊本市医師会からは、クラウド型健診システム CARNAS についての紹介が行われました。また、日曜ドックにおいて内視鏡検査を行う割合は47%で透視は53%ということでしたが、癌の発見率は内視鏡が約4%、透視が1%弱で圧倒的に内視鏡の方が高いという結果でした。その他、肺がん検診では、各医療施設でレントゲン撮影を行い、データを送ってもらい専門医が読影するという流れがあるそうです。患者費用は500円で、健診者数は前年比2.2倍まで伸びたそうです。

<高齢社会事業部門：持田和幸先生>

私からは高齢社会事業部門について報告させていただきます。長崎市医師会、那覇市医師会、島原市医師会、北九州市小倉医師会より発表が行われております。

長崎市医師会からは、2004年から開始された長崎地域医療連携ネットワークシステム「あじさいネット」の活用について説明がありました。その中で印象に残ったのが、カルテ共有についてです。現在、38情報提供病院において情報の閲覧が可能となっており、「地域カルテ」としての役割を持ち利用者・家族の療養生活を支えているそうです。また、開業医の血液検査が多職種で共有できる検査結果共有も取り入れられており、地域のカルテとしての役割を果たしているようでした。

そして、那覇市医師会からは、多職種間での合意形成を重視した入退院支援ツールについて、島原市医師会からは、意思決定をプロセスとして支援するためのACP「もしもメモ」試行版の活用についての発表がありました。

第4題の北九州市小倉医師会からは、「介護現場におけるカスタマーハラスメント」

についてアンケート調査の結果報告が行われました。介護現場では、約 6 割の方がセクハラや暴言・暴力などのハラスメントを受けている実態が認識されたそうです。このような地域の実情をとらえ、教育啓発・ハラスメント防止対策を一緒に考え、職員が安全で安心した職場環境を整備していけるようにすると共に、行政にも報告し、地域全体の取り組みになるようにできればとされていました。

#### 5. 令和 6 年度第 1 回郡市医師会立看護学校運営協議会報告（草野 謙一郎理事）

本日（7 月 19 日）18 時 30 分より開催されましたのでオンラインで参加してきました。どの地区の看護学校も定員に対する入学者が少ないということが問題となっていました。最近では、鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校が募集停止されています。佐賀市医師会立看護専門学校の看護専門課程（正看）は、定員 80 名に対して入学者 36 名、唐津看護専門学校の看護専門課程（正看）も定員 40 名に対して入学者 22 名とかなり厳しい状況であることが報告されています。その中で、武雄看護学校は定員 40 名に対して入学者 36 名なので他地区の状況と比べるとまだよい状況でした。どの地区も危機感を募らせており、今後の学校運営の方向性についての協議が行われたところです。このような状況から、日本医師会では、学校の本体を 1 つにして、他の施設をサテライトキャンパスとして運営するサテライト構想を検討されています。佐賀県では、この構想も耳に入ってきたばかりであり、医務課も含めてこれからどうすべきかを考える必要があるということでした。

## IV. 報告事項

### 1. 会員の異動について

<退会>

- ・令和 6 年 6 月 21 日付 D 会員 緒方 文江先生 自宅会員

### 2. 令和 6 年度佐賀県がん看護研修会（5 日間コース）および（終末期ケア ELNEC-J 2 日間コース）の開催について

<5 日間コース>

期間：令和 6 年 9 月 18 日（水）～11 月 28 日（木）うち 5 日間（30 時間）

<終末期ケア ELNEC-J2 日間コース>

期間：令和 7 年 1 月 25 日（土）～1 月 26 日（日）うち 2 日間

場所：佐賀県看護協会看護センター

3. 江北町子どもの医療費助成事業制度改正について

※令和7年4月1日より、助成対象年齢の引き上げ及び医療費無償化が施行されます。

＜助成対象者＞

現行制度：0歳～中学生（15歳到達年度末）

制度改正後：0歳～高校生等（18歳到達年度末）

＜自己負担額＞

現行制度：入院上限1,000円、通院上限500円、調剤無料

制度改正後：入院無料、通院無料、調剤無料（窓口負担なし）

4. 第55回全国学校保健・学校医大会について

日 時：令和6年11月9日（土） 10:00～

場 所：シーガイアコンベンションセンター

テーマ：「未来ある子ども達のために、いま学校医ができること」

※参加を希望される場合は、大会HPより申込みが必要です

5. 「令和6年度佐賀県医科・歯科連携による糖尿病等対策事業」医科・歯科連携のための人材育成研修会について

日 時：令和6年9月14日（土） 14:30～18:00

場 所：佐賀県歯科医師会会館 1階ホールおよび

Zoomによるハイブリッド開催

6. 令和6年度結核予防技術者地区別講習会の開催について

日 程：令和6年8月1日（木）～8月2日（金）

場 所：長崎ブリックホール

7. 武雄杵島地区在宅医療・介護連携実態調査について

※現在、在宅医療・介護連携推進事業では、4つの場面（日常の療養支援・

入退院支援・急変時の対応・看取り）ごとに目指すべき姿（課題）を設定し、その目指すべき姿を意識した取り組みを行うことが求められています。

当地区における4つの場面の「目指すべき姿（課題）」が設定できるよう

現状把握のための調査を7月11日より実施しておりますのでご協力をお

願いいたします。回答は8月31日まで受け付けております。

8. 「武雄警察署テロ対処訓練」の開催について

日 時：令和6年7月22日（月）13：30～14：15

場 所：ひぜしんスタジアム（武雄市東川登町永野 7927）

9. 令和6年全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について

日 時：令和6年10月26日（土）10：00～17：30

場 所：ホテル日航福岡

※参加希望がある場合は8月30日（金）までに報告が必要となります

10. 南部地区合同理事会について

日 時：令和6年8月28日（水）19：00～

場 所：オンライン開催

議 題：看護学校の現状と課題

11. 令和6年度第1回在宅医療・介護住民公開講座の開催について

日 時：令和6年8月31日（土） 14：00～16：15

会 場：北方公民館（文化ホール）

※先日、各医療機関へチラシおよびポスターの配布を行っておりますので  
掲示等をお願いいたします。

12. 令和6年度第1回佐賀県在宅医療・介護連携サポート体制強化事業連絡会議  
「全体会議」の開催について

日 時：令和6年7月25日（木）18：30～

場 所：Zoomを使用したオンライン開催

委 員：森 倫人先生

13. 令和6年8月行事予定

1日（木）木曜会 13：00～ 2階読影室およびWEB

7日（水）鹿島藤津武雄杵島地区医師会学術講演会 19：00～ Web開催

演題：「神経障害性疼痛における適切な薬物療法の実践」

演者：社会医療法人祐愛会織田病院

ペインクリニック・健康管理センター長 中平 圭先生

- 18日（日）第55回中四九地区医師会看護学校協議会（オンライン開催）  
23日（金）理事会 19:00～ 2階会議室 ※8月は第4金曜日開催です  
~~27日（火）全体会議 19:00～ 2階会議室（中止）~~  
※8月の全体会議は南部地区合同理事会の開催に伴い中止いたします  
28日（水）南部地区合同理事会 19:00～ Web開催  
30日（金）武雄看護学校講師会議 19:00～  
31日（土）在宅医療・介護住民公開講座 14:00～ 北方文化ホール

※8月の「佐賀県医療勤務環境改善支援センター」の出張相談日は  
27日（火）です。

労務管理全般に関することなど社会保険労務士による相談が無料で  
受けられますのでぜひご利用下さい。

【 広報担当理事 田 中 雅 博】

【       "           谷   口   亮】

令和6年7月25日